

17地区での自由枠交付金の使い方などを紹介！！



地域で生きる自由枠交付金

Part 12

三須地区地域づくり協議会

●自由枠交付金制度の活用について

自由枠交付金制度が始まったことで、各町内会が必要に応じて自由に用途を決定でき、バランスの取れた活用ができるようになりました。また、全11町内会で自主防災組織が設立されました。地区の連携・一体化を図るため、今年度から三須地区全体の防災訓練を実施します。

●今後の課題

東西（5km）に長い三須地区は、いっそう連携が図られるよう意識して活動に取り組む必要があります。この制度を活用し、地域の交流を深め、三須地区全体が活力あるまちづくりを進めていかなければいけません。

三須地区地域づくり協議会会長

岡 弘さん

この制度が始まって1年半が経ちました。現在は、地域間のつながりができ、地区全体の活性化につながっています。防災訓練でさらに地域のつながりを強化していきたいです。



毎年11月には、三須分館でふれあい文化まつりが開催され、約500人が来場。交流を深めている

主な活動内容

部会名	活動内容
自治組織部会	防犯カメラ設置、防犯灯設置（LED化）、公会堂維持管理、交通安全標識設置、清掃活動など
環境部会	道路・水路などの維持補修、道路・水路・ため池などの草刈り・清掃
福祉部会	敬老会の開催
地域活性部会	ふれあい文化まつり、吉備路れんげまつりでの模擬店出店、コミュニティ研修視察など



市長室を訪れ経緯を説明する益子会長



固い握手を交わし、応援を約束

三菱自動車工業株式会社の一連の燃費問題で、当初、偽装が発覚し生産停止を余儀なくされた軽自動車4車種（日産自動車へのOEM供給2車種を含む）に加え、新たに8車種が不適切な燃費測定を行っていたとする調査結果を報告するため、9月20日、益子修会長が市役所を訪問。市長に経緯を伝えました。

益子会長は、「生産台数を増やせるように全力で取り組んでいきたい」と。市長は、「補償は適切に対応している」と聞き安心した」と述べ、引き続き協力関係を築き応援して行くことを約束していました。

三菱自動車燃費関連問題 部品メーカーへの補償を要望 問い合わせ 商工観光課商工労政係（☎08276）

Hikarinomi Concert



相川七瀬



加藤登紀子



岡本真夜



9月の3連休、2人の大使が来総

総社赤米大使 相川七瀬さん、加藤登紀子さん、岡本真夜さん

総社市環境観光大使 野口健さん
熊本県益城町

× ヒカリノミコンサート テント村プロジェクト報告会



テント村で過ごした親子が来総



環境学校の修了生が野口さんにお礼

また、19日には、総社市環境観光大使の野口健さんが、市民会館で熊本地震の活動報告会を行いました。野口さんは、「避難所ではいかに前向きに生きていくの雰囲気をつくれるかが大切だ」と述べ、テント村の成果を報告しました。

9月17日、総社赤米大使の相川七瀬さん、歌手の加藤登紀子さん、歌手の岡本真夜さんを招いた「ヒカリノミコンサート」が備中国分寺の特設会場で開催されました。来場者は約2000人。ライトアップされた赤米のほ場に響き渡る歌声と幻想的な光景を、訪れた人は堪能していました。



Tent Village Project